

(お知らせ)

平成 26 年 3 月 14 日
行 財 政 局
〔 担当 コンプライアンス推進室 〕
TEL 222-4069

京都市公正職務執行審議会の開催結果について

昨日開催いたしました平成 25 年度第 2 回京都市公正職務執行審議会の結果について、下記のとおりお知らせします。

記

- 1 日 時 平成 26 年 3 月 13 日 (木) 午後 3 時 30 分から午後 5 時
- 2 場 所 職員会館 かもがわ 大多目的室 (3 階)
- 3 出席者 (敬称略)
委 員 安保千秋, 大西啓子, 梶谷正, 高木光, 中西たえ子, 成田秀樹, 塚本稔
京都市 監察監 田中照人, 行財政局コンプライアンス推進室長 板倉康夫ほか
- 4 議事内容
 - (1) 会長の選出及び副会長の指名について
会長については、委員の互選により、安保委員が就任した。
副会長については、会長の指名により、高木委員が就任した。
 - (2) 京都市職員の公正な職務の執行の確保に関する条例に基づく要望等の状況について
平成 25 年度上半期における要望等の件数 (総数 7, 540 件) 及び傾向等について報告した。
なお、要望等のうち、措置を講じた不正な要望等及び不正な言動を伴う要望等に該当するものはなかった。
 - (3) 本市におけるコンプライアンスの推進に関する取組について
本市におけるコンプライアンスの推進に関する取組について報告した。
また、職員の規範意識や倫理観を高め、職員が公務員、京都市職員としての誇りや自覚、使命感を持つために、どのような取組が有効か、意見をいただいた。
【委員からの主な意見】
 - 公務外は公務の延長線上にあり、公務外非行の予兆は公務中に必ずある。管理職が職員の状況を把握し、適切な対策を講じていくことが、公務外非行を未然に防止する最善の策である。
 - 市民に信頼される身だしなみや、職場の整理整頓などにより職員の意識は変わる。
 - 個人情報の不正な提供、閲覧などの重大なリスクに対して、組織的なリスクマネジメントが求められる。
 - 健康管理や仕事への意欲喚起など、職員の満足度を高めるプラスの取組も重要である。